

1-25 自社農場の鶏ふんを原料とした粒状・粉末の発酵堆肥
(有限会社グリーンファームソーゴ)

○ 有限会社グリーンファームソーゴでは、鶏ふんをロータリー式コンポ発酵法及び縦型コンポ式発酵法を用いて、攪拌、発酵させた発酵鶏ふんを粒状・粉末の形状にして商品化。

■国内資源の種類

- ・鶏ふん

■作物

- ・葉物野菜中心、
- ・水稻
- ・栗

■肥料の種類・肥料名称

- ・種類：特殊肥料（堆肥）
- ・肥料名：鬼に金棒
(粉末・粒状)

■取組の経緯・内容・成果

取組の経緯

- ・約30年前に、製品中に混入した異物や大粒の物（ガラ）を排除するためにふるいにかけたことが始まりとなり、利用者の用途に応じて形状の使い分けができるよう粒状・粉末に分別して商品化。

取組の内容

- ・自社農場の鶏ふんを縦型コンポ式発酵法では粉末製品を生産。また、ロータリー式コンポ発酵法ではその攪拌する爪の形状を活用して粒状製品を生産して、ふるい（網目20ミリ）にかけたのち、天日乾燥して袋詰め。
- ・近隣農家への配送のほか、店頭、農産物直売所、ホームセンターで市内外の農家に販売し、HP掲載やパンフレットを作成・配布して消費者にもPR。

成果

- ・粒状・粉末に分別したことで需要が拡大し、遠方農家への大量販売が実現。
- ・全量を「鬼に金棒」商品として販売できている。



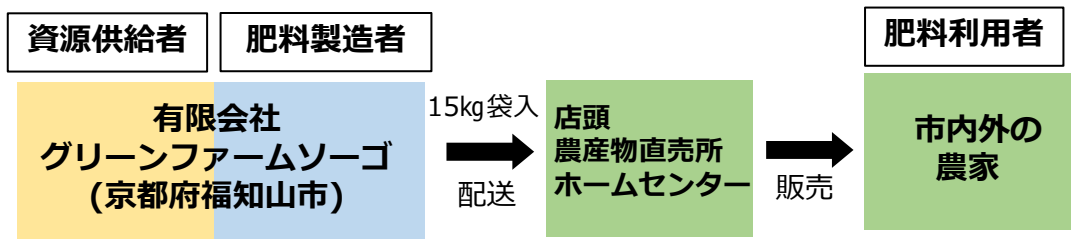
ロータリーの爪形状

■主成分の含有量（%）、特徴等

- ・石灰を含み、臭気は少ない。
- ・用途に応じて形状の使い分けが可能

	N	P	K	C/N	水分
粒状	2.4	6.5	3.3	10	8
粉末	3.0	4.5	2.5	8	15

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



ロータリーコンポ



縦型コンポ



ふるい



天日乾燥場

■今後の課題・取組

- ・近畿管内の採卵養鶏場では初となる農場HACCP、畜産GAP認証などを取得し、規模拡大せず、生産も製造も販売も定時・定量を目指す。
- ・ロータリーコンポから生産した粒状堆肥は、仕上げに天日乾燥にて含水量を下けているが、冬季は乾燥が進まず販売が滞るため、今後はペレット化も含めて検討。



製品（外観）



粒状堆肥



粉末堆肥